

令和 8 年用西洋梨病虫害防除基準

散布時期	適用病虫害	薬剤名及び濃度（水100ℓ当たり薬量）	収穫前 使用日数	総使用 回数	10a当たり 散布量	注 意 事 項 （収穫前使用日数、総使用回数）	防除履歴	
前年① の落葉期から 発芽直前まで		1. 水 （98ℓ）			250ℓ	1. 石灰硫黄合剤10倍（発芽前、－）を散布する場合、右記防除7日前に実施する。 2. ハーベストオイル50倍に替えて、スプレーオイル50倍（発芽前、－）を使用してもよい。 3. モモシンクイガが多い園では、開花1週間前までマブリックE W ^㉔ 2,000倍（30日前まで、2回以内）を散布する。 4. ハマキムシ類が多い園では開花直前にフェニックスフロアブル4,000倍（前日まで、2回以内）を散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ	
	ハダニ類	2. ハーベストオイル 50倍（2ℓ）	発芽前	－				
	胴枯病	3. トップジンM水和剤 1,000倍（100g）	前日まで	6回以内				
	カイガラムシ類幼虫	4. アプロードフロアブル 1,000倍（100ml）	30日前 ま で	2回以内				
4 ^シ 【特 月クイ 別ムシ 下シ 対 旬策	ナシヒメシンクイ	1. ナシヒメコン 50～100本／10a	－	－	－	1. ナシヒメシンクイの多い園は、下表「交信かく乱剤（シンクイムシ対策）」を参照し、設置する。ハマキムシ類の多い園では、ナシヒメコンに替えてコンフューザーNを150～200本／10a設置してもよい。	設置日 月 日 設置量 本	
殺虫剤、殺ダニ剤、除草剤の散布制限 訪花昆虫を保護するため、開花1週間前から巣箱を撤去するまでは殺虫剤、殺ダニ剤並びに除草剤の散布は絶対しない。								
へ② 巢落 箱花 撤1 去週 後間 後		1. 展着剤（ハイテンパワー） 10,000倍（10ml）			450ℓ	1. 胴枯病の患部を削り取りバッチレート（3回以内）を塗布する。 <div>胴枯病の萎凋枯死花そうや枯死枝は、徹底してせん除し、適切に処分する。</div>	散布日 月 日 散布量 ℓ	
	胴枯病	2. トップジンM水和剤 1,500倍（66g）	前日まで	6回以内				
	黒星病 赤星病	3. サンリット水和剤 4,000倍（25g）	7日前 ま で	3回以内				
	アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類	4. モスピラン顆粒水溶剤 ^㉔ 2,000倍（50g）	前日まで	3回以内				
輪 紋 病	③	1. 展着剤（アビオン－E） 1,000倍（100ml）			500ℓ	1. この時期の薬剤散布は幹、太枝まで十分かかるよう丁寧に散布する。 2. 品種や生育ステージによって薬害やサビが発生する可能性があるため乾きやすい時間帯に散布する。 3. もも、りんご等に薬害が生じる場合があるため飛散には注意する。	散布日 月 日 散布量 ℓ	
	輪紋病	2. オキシラン水和剤 500倍（200g）	21日前 ま で	9回以内				
		アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類	3. ダイアジノン水和剤34 ^㉔ 1,000倍（100g）	14日前 ま で				6回以内
			4. バイカルティ 1,000倍（100g）					
			輪紋病、胴枯病の重点防除時期（6月～7月）なので枝幹にもたっぷり（600ℓ／10a）散布する。特に、降雨が多い場合、防除間隔が7日以上空かないように注意する。					
胴 枯 病	④ 6 月 上 旬	輪紋病	1. デランフロアブル ^㉔ 1,000倍（100ml）	60日前 ま で	4回以内	600ℓ	1. 極早生品種のある園では、デランフロアブルに替えてトップジンM水和剤1,500倍（前日まで、6回以内）を散布してもよい。 2. カイガラムシ類の多い園では、6月上旬～6月中旬に発生状況を確認し、トランスフォームフロアブル2,000倍（前日まで、3回以内）を枝幹に十分かかるように加用して散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		ハマキムシ類 シンクイムシ類	2. テルスター水和剤 1,000倍（100g）	前日まで	2回以内			
			3. バイカルティ 1,000倍（100g）					
病 重 点	⑤ 6 月 中 旬	輪紋病 胴枯病	1. カナメフロアブル ^㉔ 4,000倍（25ml）	前日まで	3回以内	600ℓ	1. 殺ダニ剤を使用する場合は、4日前まで草刈りを終了する。除草剤を使用する場合は殺ダニ剤散布の1週間前までに終わらせる。 2. カナメフロアブル ^㉔ に替えて、パレード15フロアブル2,000倍（前日まで、2回以内）を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		シンクイムシ類 アブラムシ類 カメムシ類	2. ダントツ水溶剤 2,000倍（50g）	前日まで	3回以内			
			3. バイカルティ 1,000倍（100g）					
防 除	⑥ 6 月 下 旬	輪紋病	1. 展着剤（アビオン－E） 1,000倍（100ml）			600ℓ	1. 例年ナシヒメシンクイの発生が多い園では6月下旬～7月上旬にナシヒメコン50本／10aを追加設置する。 2. 胴枯病の発生している園ではトップジンM水和剤1,500倍（前日まで、6回以内）を加用して散布する。 3. カネマイトフロアブルに替えて、ダニコングフロアブル2,000倍（前日まで、1回）を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		ハダニ類	2. ナリアWDG 2,000倍（50g）	前日まで	3回以内			
		アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類	3. ダイアジノン水和剤34 ^㉔ 1,000倍（100g）	14日前 ま で	6回以内			
			4. カネマイトフロアブル 1,000倍（100ml）	前日まで	1回			
			5. バイカルティ 1,000倍（100g）					

耕種的防除

全 般	1. 適切な肥培管理等により、樹勢を健全に保つ。 2. 園地の角など薬剤が到達しにくい部分や混み合っている部分の枝はせん除し、薬液が隅々まで到達しやすいようにする。 3. 病虫害は樹上の粗皮や芽の付近に越冬するものが多いので、効率防除を図るため、休眠期防除前に粗皮削りを行なう。
輪 紋 病	1. 樹勢が弱いと発生しやすいので、樹勢の維持に努める。 2. 休眠期にいは皮病斑を削り取り、削り取った病患部は適切に処理する。
炭 そ 病	1. 園周辺のニセアカシヤやクルミ等は、伝染源になるので除去する。
胴 枯 病	1. 樹勢が弱いと発生しやすいので、樹勢の維持に努める。 2. 胴枯病の被害枝は見つけしだい切り落とし適切に処分する。

西洋梨施肥基準（成木：10a 当たり）

品 種 ・ 目 標 収 量	肥 料 名	施肥量（kg）	施肥時期	N	P	K
ラ・フランス（2,500kg）	フレッシュフルーツ有機70	100kg	9月下旬	10.0	5.0	2.0

散布時期		適用病虫害	薬剤名及び濃度（水100ℓ当たり薬量）	収穫前 使用日数	総使用 回数	10a当たり 散布量	注 意 事 項 （収穫前使用日数、総使用回数）	防除履歴																																			
輪紋病・胴枯病重 点防除	⑦ 7月初め		1. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍（100ml）			600ℓ	1. この時期、オキシラン水和剤に替えて、I C ボルドー412 30倍（一、一）を散布してもよい。但し、隣接する園に飛散しないよう注意する。	散布日 月日 散布量 ℓ																																			
		輪紋病	2. オキシラン水和剤 500倍（200g）	21日前 ま	9回以内																																						
		アブラムシ類 シンクイムシ類	3. スタークル顆粒水溶剤 2,000倍（50g）	前日まで	3回以内																																						
			4. バイカルティ 1,000倍（100g）																																								
	⑧ 前回散布7日後		1. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍（100ml）			600ℓ	1. この時期、オキシンドー水和剤80に替えて、I C ボルドー412 30倍（一、一）を散布してもよい。但し、隣接する園には飛散しないよう注意する。 2. りんご隣接園では、オキシンドー水和剤80に替えてオキシラン水和剤500倍（21日前まで、9回以内）を使用する。	散布日 月日 散布量 ℓ																																			
		輪紋病	2. オキシンドー水和剤80 1,400倍（71g）	21日前 ま	9回以内																																						
		シンクイムシ類 カイガラムシ類	3. オリオン水和剤40 1,000倍（100g）	3日前 ま	2回以内																																						
			4. バイカルティ 1,000倍（100g）																																								
	⑨ 前回散布7日後		1. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍（100ml）			600ℓ		散布日 月日 散布量 ℓ																																			
		輪紋病	2. ベルクート水和剤 1,000倍（100g）	14日前 ま	5回以内																																						
		シンクイムシ類	3. サムコフロアブル10 5,000倍（20ml）	前日まで	3回以内																																						
			4. バイカルティ 1,000倍（100g）																																								
品種ごとの収穫開始時期を考慮し、各薬剤の収穫前使用日数を厳守する。																																											
⑩ 前回散布7日後	輪紋病	1. オンリーワンフロアブル 2,000倍（50ml）	前日まで	3回以内	600ℓ	1. コロマイト乳剤は「ル・レクチュ」に薬害の恐れがあるので注意する。 2. コロマイト乳剤に替えて、ダニゲッターフロアブル2,000倍（前日まで、1回）を使用してもよい。 3. ダニゲッターフロアブルは、開花期の水稲にかかった場合、穂に薬害の生じるおそれがあるため、かからないように注意する。	散布日 月日 散布量 ℓ																																				
	ハダニ類	2. コロマイト乳剤 1,000倍（100ml）	前日まで	1回																																							
	⑪ 8月上旬	輪紋病	1. パレード15フロアブル 2,000倍（50ml）	前日まで	2回以内			600ℓ	1. りんご、もも、スモモの近接園では飛散しないよう十分に注意する。	散布日 月日 散布量 ℓ																																	
シンクイムシ類		2. モスピラン顆粒水溶剤⑩ 2,000倍（50g）	前日まで	3回以内																																							
⑫ 8月中旬		1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍（10ml）			600ℓ	1. ハダニの発生が多い園では、下記の殺ダニ剤のいずれかを総使用回数に注意して単用で散布する。 <table><tr><th>薬 剤 名</th><th>希釈倍率</th><th>収 穫 前 使用日数</th><th>総使用 回 数</th><th colspan="2">使用時期</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th>7月</th><th>8月</th></tr><tr><td>マイトコーネフロアブル</td><td>1,000倍</td><td>前日まで</td><td>1回</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>コテツフロアブル⑩</td><td>2,000倍</td><td>前日まで</td><td>3回以内</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>ダニゲッターフロアブル</td><td>2,000倍</td><td>前日まで</td><td>1回</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>アカリタッチ乳剤</td><td>3,000倍</td><td>前日まで</td><td>－</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>	薬 剤 名	希釈倍率	収 穫 前 使用日数	総使用 回 数	使用時期						7月	8月	マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日まで	1回	○		コテツフロアブル⑩	2,000倍	前日まで	3回以内		○	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日まで	1回	○		アカリタッチ乳剤	3,000倍	前日まで	－	○	○	散布日 月日 散布量 ℓ
	薬 剤 名	希釈倍率	収 穫 前 使用日数	総使用 回 数			使用時期																																				
							7月	8月																																			
マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日まで	1回	○																																							
コテツフロアブル⑩	2,000倍	前日まで	3回以内		○																																						
ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日まで	1回	○																																							
アカリタッチ乳剤	3,000倍	前日まで	－	○	○																																						
輪紋病	2. ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍（33g）	前日まで	3回以内																																								
シンクイムシ類 カメムシ類	3. アグロスリン水和剤⑩ 1,000倍（100g）	前日まで	3回以内																																								
⑬ 8月下旬	輪紋病	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍（10ml）			600ℓ		散布日 月日 散布量 ℓ																																				
	輪紋病	2. オーソサイド水和剤80 600倍（166g）	3日前 ま	9回以内																																							
	シンクイムシ類	3. バリアード顆粒水和剤⑩ 2,000倍（50g）	前日まで	3回以内																																							
⑭ 9月上旬	輪紋病	1. フリントフロアブル25 2,000倍（50ml）	前日まで	4回以内	600ℓ	1. フリントフロアブルに替えてストロビードライフロアブル2,000倍（前日まで、3回以内）を使用してもよい。	散布日 月日 散布量 ℓ																																				
	シンクイムシ類	2. エクシレル S E 5,000倍（20ml）	前日まで	3回以内																																							
⑮ 9月中旬		1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍（10ml）			600ℓ	1. アグロスリン水和剤⑩に替えて、スカウトフロアブル⑩2,000倍（前日まで、5回以内）を使用してもよい。	散布日 月日 散布量 ℓ																																				
	輪紋病	2. オーソサイド水和剤80 600倍（166g）	3日前 ま	9回以内																																							
	シンクイムシ類	3. アグロスリン水和剤⑩ 1,000倍（100g）	前日まで	3回以内																																							
⑯ 9月下旬	輪紋病	1. ストライド顆粒水和剤 1,500倍（66g）	前日まで	3回以内	600ℓ	1. 降雨が続く場合は、ナリア WDG 2,000倍（前日まで、3回以内）、ロディー水和剤⑩1,000倍（前日まで、2回以内）を追加で散布する。 2. ヨーバルフロアブルに替えて、テッパン液剤2,000倍（前日まで、2回以内）を使用してもよい。	散布日 月日 散布量 ℓ																																				
	シンクイムシ類	2. ヨーバルフロアブル 10,000倍（10ml）	前日まで	2回以内																																							
【特別】 落葉後		1. 水 （90ℓ）			250ℓ	1. 越冬病虫害の多い園では本防除を行なう。	散布日 月日 散布量 ℓ																																				
		2. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍（100ml）																																									
	越冬病虫害 （胴枯病） （輪紋病）	3. 石灰硫黄合剤 10倍（10ℓ）	発芽前	－																																							

交信かく乱剤（シンクイムシ対策）

対象病虫害	薬剤名	使用 方 法
モモシンクイガ ナシヒメシンクイ ハマキムシ類	コンフューザーN	4月下旬にナシヒメコンを50～100本／10a 設置する。発生が多い場合は6月下旬～7月上旬に50本／10a 追加設置する。ハマキムシが多い場合は、4月下旬にコンフューザーNを150～200本／10a 設置し、7月上旬にナシヒメコン50本／10a を追加設置する。
ナシヒメシンクイ	ナシヒメコン	

1. 設置場所は、目通りの高さに8割、2割を上部に、園内均一に設置する。
2. 傾斜上部の設置割合を1～2割多くする。
3. 園周辺の立木や、支柱などにも設置する。
4. 防風ネットなどを利用する。
5. 高温時は成分の揮発が早いので、必要に応じて追加設置する。